

明合乃里会

韓国企業が視察訪問 ブレインリハビリテーション 認知症予防・改善に効果

韓国で老人ホームなどの施設の経営や療養コンサルタントを行っている Angel Homecare Co.Ltd の金燦雄代表理事らが11日、津市安濃町東観音寺にある社会福祉法人明合乃里会（永田博一理事長）を訪れた。同施設が高齢者の認知症予防や改善のために実施している「ブレインリハビリテーション」を見学した。

昨年からは老人介護保険制度がスタートした韓国では、急速に高齢化が進み、



高齢者の認知症が「深刻な問題」になっている。同社は「国を挙げて「認知症に取り組もう」と政府の

支援を受けている。

明合乃里会は、5年ほど前からパソコンを用いて脳を活性化する脳のトレーニング「ブレインリハビリテーション」を導入し、認知症の改善に効果をあげている。このトレーニングは

永田理事長が開発したもので、ゲーム感覚で楽しんでリハビリを行うことができる。

内容は、足し算、引き算などの計算からひらがな文

字を並び替えて言葉を作成させる、カードに隠れた動物を当てるなど難易度によってレベル別になっている。また、文字サイズを選べる、高齢者に馴染み深い言葉を解答するなど高齢者向きに作られている。

今回の視察で、そのノウハウを学んだ金代表理事は、「早くこのシステムを韓国でも導入して認知症予防、改善に役立てたい」と語っていた。